

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

中央図書館開館 20 周年記念

◆◆◆-----
◆◆ 市川市立図書館メールマガジン 第 71 号 2015.2.25
◆-----

2 月もあとわずかとなりました。まだまだ寒い日が続きますが、中央図書館では梅の白い花が咲き始め、春の訪れを感じさせてくれます。

2 月 13 日(金)、中央図書館では、2～3 月の特集展示「終活」に併せた講座「人生のハッピーエンドを準備する」を開催しました。参加者の皆さんは、金融広報アドバイザー齋藤喜代美先生の「遺言には、法的に認められるために必要な書き方があります。でも、様式などの決まりはありません。ご家族へのラブレターだと思ってたくさんの言葉を残してください。」という言葉に笑いながらも、熱心にメモを採っていらっしゃいました。

■ ■ 図書館からのお知らせ □-----

◆市川駅南口図書館を除く全図書館は、月末館内整理のため、2 月 27 日(金)を休館いたします。

◆オリジナルエコバッグに新色が登場しました！

○中央図書館では、現在開館 20 周年を記念したオリジナルエコバッグ(赤色・緑色)を販売中ですが、好評につき新色(黒色・紺色・オレンジ色)を数量限定で販売いたします。エコバッグは全部で 5 色。各 500 円です。お求めは中央図書館インフォメーション(1 番)カウンターへ。詳しくはこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1166.html>

■ ■ 市川ゆかりの作家 □-----

○本日 2 月 25 日は市川ゆかりの俳人、伊庭心猿(いば・しんえん)の命日、心猿忌。心猿はすぐれた文筆家である一方、世に埋もれたような風狂な生活を送っていたと伝えられています。また、本名の猪場毅(いば・たけし)名義では、編集者として『一葉に与へた手紙』(今日の問題社 1943)の註釈にたずさわりました。

1957（昭和 32）年の 2 月 25 日死去。51 年の生涯でした。

○心猿名義の著書は句集『やかなぐさ：伊庭心猿句鈔』（葛飾俳話会 1956）、『絵入り東京ごよみ：伊庭心猿随筆集』（葛飾俳話会 1956）など。図書館では原本の所蔵はしていませんが、複製を所蔵しています。また図書館のホームページより、電子テキストとしてご覧いただくことができます。

電子テキストなど詳しくはこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/db/1001.html>

○伊庭心猿に関連する本をご紹介します。

◇『来訪者』永井荷風／著（筑摩書房 1946）

心猿は、永井荷風とも親交をもちましたが、荷風の前稿や色紙などを偽筆して密かに売りさばき、ついには荷風の住居である偏奇館への出入りを差し止められてしまいます。この作品では、木場という登場人物が心猿であると言われていています。

「来訪者」は『荷風全集 第 18 巻』（岩波書店 1994）などでも読むことができます。

◇『荷風外伝』秋庭太郎／著（春陽堂 1979）

心猿と平井呈一によって起こされた前述の偽筆事件について記されています。荷風は不思議なことに、その事実を知った当初は心猿らに悪感情を抱かず、咎め立てもしませんでした。なぜならば「自己の揮毫した色紙、短冊、半切から既発表の古原稿等が読者から珍重されていることを知って、ひそかに満悦していたからである。」（p 309～310 原文は旧漢字・旧仮名）心猿と平井が 2 人で写った写真も掲載されています。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
